



WE, JOKERS

英語のジョークを楽しむ会報

No.46 December 10, 2014

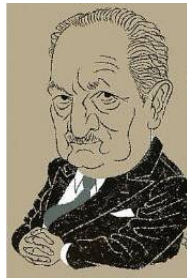
- ジョークの心得三か条:
1. ジョークは心のゆとりであり、人生の潤滑油です。
 2. ジョークで言語の壁に挑むのは知的快感です。
 3. ジョークは簡潔が至上です。

ジョークと私

笑いと哲学

佐川 光徳

八月のある日、新聞の訃報欄で、高名な哲学者・木田元氏が亡くなったことを知りました。それがきっかけとなり、以前買ったきりにしていた『新人生論ノート』（集英社新書、2005年）



を書棚から引き出してのぞいてみると、これが買った当時とは打って変わって面白く、あれよあれよという間に、二度読んでしまいました。

「〇〇について」と題する十数章が並んでいる中に「笑いについて」も含まれていますので、これは JLC 会員にとって、チャレンジです。

木田さんは、ベルグソンやスタンダールを始めとする諸家の「笑いの理論」をざっと紹介した後で、自分は坂口安吾説にもっとも共感すると結論していました。



「合理の世界が散々もてあました不合理を、もはや精根尽きはてたので、突然不合理のまま丸呑みして、笑いとはばして了おうというわけである。」

1928 年生まれの木田さんの青春時代は、後ろを見ればいやな記憶ばかり、先を見れば真暗闇。「そうなりや、もう笑うしかないではないか」と回想しています。

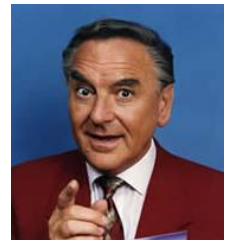
笑いの分類からすれば、これは「哄笑」でし

よう。「哄笑」をもって笑いの根源とする木田説に私も大賛成です。

もちろんそれ以外にも、「艶笑」「嬉笑」「苦笑」「失笑」「嘲笑」「微笑」「憫笑」「爆笑」など、数多くの笑いがありますが…。

‘When I first said I wanted to be a comedian, everybody laughed. They’re not laughing now.’ と言ったのは、Bob Monkhouse (1928-2003) という英国のコメディアンです。

昔、周りの人びとは、「お前なんかコメディアンになれるものか」と「嘲笑」しました。しかし、努力の甲斐あって、多くの観客を



「爆笑」させている現在の私を「嘲笑」する人は、もはや誰もいません。（残念ながら、私は人に笑われなくなってしまったのです）と、説明してしまえば興ざめです。LAUGH 一語の中含まれた複数の意味を、瞬時に読み取ってこそジョークです。

リクツっぽ過ぎましたか？ ベルグソン『笑いについて』の訳者・林達夫が、「由来、哲学と喜劇は甚だ仲がよくなかった」と言っているとおりでしょ。

笑いに溢れた新年をお迎えください。



第 45 回研究発表会
コトバデス
(QUOTE VADIS)
—どこへ行くのか—
岡田 茂富

この題名は、筆者がまだ中学生だったときに観て感激した映画、「クオ・ヴァディス」のもじりです。たしかロバート・テイラー、デボラ・カー、ピーター・ユスティノフが主演していましたね。



クオ・ヴァディスとは、「主よ、いずこに行き給う」と、ローマを立ち去ろうとする伝道者ペテロがキリストの精霊にむかって尋ねたことばです。

ところで君は、他人のコトバを使ってどこに行こうというのか？ というわけです。

引用された名言は全部で 61 個。第 1 部が「意外、この人がこんな発言を」、第 2 部が「なるほど」、第 3 部が「よりよい人生を得るには」、そして第 4 部が「年をとるとは」となっています。

Simplicity is the key to brilliance. (単純こそは素晴らしいことの秘訣である) これは誰のことばかお分かりでしょうか。この人は Real living is living for others. とも言っています。まるで哲学者みたいですね。でもこれらは武道家 Bruce Lee のことばです。

同じようなことばで、Only a life lived for others is a life worthwhile. はどうでしょう。なんとこれは知の巨人 Albert Einstein です。

Nothing is impossible, the word itself says

‘I’m possible’! これは Audrey Hepburn。

Anyone who does not believe in miracles is not a realist. ドストエフスキーの「カラマーゾフの兄弟」にあるようなことばですが、実はこれも Audrey Hepburn です。



さて次は、第 2 部「なるほど」から。

Love is being stupid together. (愛とはともに阿呆になること) Paul Valery. Power without abuses loses its charm. もそうです。

Las Vegas is the only place I know where money really talks...it says, “Goodbye.” こんなことを言うのは、いかにも Frank Sinatra ですね。

これはどうでしょうか。I like my whisky old and my women young. と手前勝手なことを言うのは Errol Flynn です。

There is only one cure for grey hair. It was invented by a Frenchman. It is called the guillotine. とおっしゃるのはイギリスのユーモア作家 P.G. Wodehouse です。

There is nothing more deceptive than an obvious fact. は名探偵シャーロック・ホームズの生みの親 Arthur Conan Doyle のことばです。

Money can't buy you happiness but it does bring you a more pleasant form of misery. これはイギリスのコメディアン Spike Milligan。

Marriage is an adventure, like going to war. 結婚とは実は異性間の殺し合いですからね。これは Gilbert K. Chesterton のことば。



次に第 3 部「よりよい人生を得るには」から。



Just only today let's live for all we are worth. (今日一日だけ一生懸命生きよう) は斎藤一人です。

「困ったことがおきたら、面白いことがおきたと言ってみな。奇跡がおきるから」も斎藤一人。

発表には登場しませんでした。中村天風によれば、Men are the strongest when they are laughing. (笑っているとき人間は最も強い) ということです。

最後に、筆者にも、そして多分みなさまにとっても他人事でない「年をとるとは」の部に入ります。Old age isn't a battle; old age is a massacre. (老齢とは戦いにあらず、皆殺しである。マサカ)

アメリカの小説家 Philip Roth のことばです。It's no fun getting old. And I'm f*cking old.

今年の8月にうつ病で自殺したアメリカのコメディアン Robin Williams はこうもらしました。同感ですね。



アメリカの女優 Estelle Getty によれば、Age doesn't bring you wisdom, age brings you wrinkles.



劇作家 Tennessee Williams はこう言いました。You can be young without money, but you can't be old without it. これって、

金がないと年をとらないということ? と分かっているてもそう言いたくなりますね。

年をとっていいことは、物忘れがはげしくなることぐらいなのか。年寄りでも、あまり努力しなくてもなれそうなことは、Stay hungry. Stay foolish. - Steve Jobs ということでしょうか。

嗚呼、やって来たのはここでした。



第25回 ジョーク・コンテスト

MCの記

今井真由美

今回の応募は15件、読んだ途端思わず吹き出すダジャレジョークに男女の機微、さすがの時事(爺ではありません)ネタ、とバラエティに富んで面白さ満載でした。

1位は1回目から抜群の得票を得られた相原さんの Doctor, my husband has a habit of talking in his sleep. What should I give him to cure it? 'Give him an opportunity to speak when he is awake.' 夫の寝言のことまで奥さんが逐一相談していること自体このご夫婦のすべてを表しています。このドクターはなかなかやりますねえ。

2位は1回目・2回目とも安定感のある得票を得られた草野さんの A Japanese student is planning to go to Syria to join the Islamic State. His friend asked: Are you serious? The student quipped: Yes I'm "Syrias". It's not "Jordan".

北大の学生のニュースをさっそく自作ジョークにされた手腕に一同舌を巻きました。

Jordan=冗談は日本語理解者に限られますが、このダジャレジョークは1番の深沢さんの8歳上=Hathaway(本当にシェイクスピアの8歳年上だったそうです)と共に日本語理解者である我々の会で大いに沸いたことはいまでもありません。

3位と大波賞のダブル受賞は初出場の熊崎さんの自作ジョーク There are several types of fear : 1. wife's yelling 2. wife's smirking 3. wife's sigh5. above all wife's silence 4がなくして5の silence といところが怖いです。Several types の fear といっているのに、全てが wife の・・・といところが自称恐妻家(本当は愛妻家とお察

します) の男性会員の得票を獲得した所以でしょう。心の機微を鋭くとらえた大型新人ぶりを発揮されました。

3位同点入賞は私(今井)の、
Patient: I'm so frightened—this is my first operation

Doctor: I know how you feel—this is just my first operation, too.

このような Beginners'古典ネタで入賞するなんて申し訳ない気持ちでいっぱいですが、これはひとえに佐川さんのイラストのおかげでしょう。手つきまでアヤシイこんな医者(かかりたくないですね)を選んでくださった抜群のセンスに深く感謝いたします。ここで宮本先生からイラスト賞もあげなくちゃねとのお言葉。

いつもユーモアたっぷりのイラストのおかげで、どのジョークにも命が吹き込まれるような気がいたします。

他に#6の「0の2倍は0」にナ〜ルホドこれはうまい! と膝を打った私ですが、さすがJLCの皆様そこはすかさず華氏(0℃=32F)なら普通の話、また0度の時もdegreesと複数形ね、とremindして頂き、知的レベルの高いことにまたまた恐れ入りました。

9番についてはbachelorの方がチャンスが多いよ! いやいやそれは人に依るでしょ? など意見が飛び交いました。

13番はハードルが高すぎて説明を加えていただけでも解りませんでした、この原稿を書きながらようやく可笑しさがこみあげて参りました。

イギリス人は3度笑う: The first time when everybody gets it. The second a week later when he thinks he gets it. The third time a month later when somebody explains it to him.と言いますが、私の場合説明を受けてから実に1か月という体たらく。(トホホ) 今後も修行に励みます。

WE, JOKERS No.46

英語のジョークを楽しむ会 (Joke-Loving Club) 会報

発行日: 2014年12月10日

発行人: 世話人代表 宮本倫好、編集人: 佐川光徳

問合せ先: jlweb-renraku@eigojoker.com

第47回研究発表会/2015年新年会 ご案内

会員各位のご参加をお待ちします。まだ会員になっておられない方もどうぞ。

会場が変更されていますので、ご注意ください。

- 日時: **2015年1月17日(土)**
14:00~16:00
 - 会場: **銀座ライオン渋谷マークシティ店**
(東京都渋谷区道玄坂1-12-5 渋谷マークシティ4階) 電話: **050-5788-0421**
「渋谷マークシティ」は、京王井の頭線渋谷駅の上にあります。
 - プログラム
総合司会 = 中嶋秀隆会員
① 新年のご挨拶と乾杯 = 宮本倫好代表
② 2014年MVPP表彰式
(受賞者には宝くじが贈られます。)
司会 = 安藤雅彦会員
③ 初笑いショート・スピーチ(全員)
司会 = 新堂睦子会員
(お一人3分前後。必要に応じて、ハンドアウトをご準備ください。)
 - 参加費: 会員・非会員とも **3,000円**
(新年懇親会費2,500円 + 運営費500円)
 - 問合せ先: renraku@eigojoker.com
 - 緊急連絡先: 植田良明会員携帯
090-7717-5126
- 参加申し込み締め切り: 2015年1月10日(土)**

どうぞよろしく = 新入会員紹介 =

熊崎清子(くまさき すがこ)さん(横浜市青葉区)

1. 私にとってジョークとは:

人生を生きやすくするもの。

人間関係の潤滑油。

2. 私の好きなジョーク:

Life can only be

understood backwards;

but it must be lived forwards.

